

CASIO®

ストップウォッチ

HSB-100W

取扱説明書

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は
お読みになった後も、大切に保管してください。

- 本製品と携帯電話を Bluetooth で接続することで、本製品の計測データをアプリで管理することができます。携帯電話で使うためには、iTunes App Store から専用アプリ「CASIO StopWatch+」をダウンロードし、インストールします。詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。なお、アプリケーションの取扱説明書は、専用アプリ「CASIO StopWatch+」のヘルプ、もしくは弊社ウェブサイトのクロック HSB-100W のページをご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



危険

ボタン型・コイン型電池の誤飲 による危険性について

ボタン型電池やコイン型電池は、特に小さなお子様が誤って電池を飲むことがないように、手の届かない所へ置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、ただちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因となります。



袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。



電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



電池の取り扱いについて

ストップウォッチが動かなくなった場合は、速やかに電池を交換してください。

取り扱いについて

提げ時計やペンダント時計、ストップウォッチなどは、ひもやチェーンによって首を絞めたり、けがをしたりすることがありますのでご注意ください。

目次

安全上のご注意	表紙裏面
本機の特長	10
各部の名称	12
モードを切り替える	14
携帯電話と一緒に使う	18
アプリケーションをインストールする	18
Bluetooth設定をオンにする	19
ペアリングする	19
ストップウォッチとアプリケーションを同期する	22
ストップウォッチ機能の使い方	24
ストップウォッチモードに入る	24
計測のしかた	27
ストップウォッチのリコール機能の 使い方	32
データを消去する	38

タイマー機能の使い方	40
タイマーの計測時間を設定する	40
計測する	44
ペース設定機能の使い方	46
シングルモードで使用する	47
メモリーモードで使用する	49
ピッチ計測機能の使い方	52
ストローク計測をする	52
記録を確認する	55
ストローク計測した記録を消去する	56
アラーム機能.....	58
アラームの時刻を設定する	58
アラームを使う.....	59
パワーセービング機能	60

時計・カレンダーモード 62

時計・カレンダーモードで時刻や その他の設定を変更する.....	62
プレイヤー ID を設定する.....	66
アラームを設定する.....	66
操作音のオン／オフを設定する	67
ディスプレイのコントラストを設定する	67
時刻・日付を設定する	68
パワーセービング機能のオン／オフを設定する	69

バッテリー残量低下の検出 70

製品仕様 72

ご使用上の注意 76

電池交換について..... 78

最初の電池.....	78
消耗.....	78
電池交換	79

モバイルリンク機能に関する注意事項.. 80

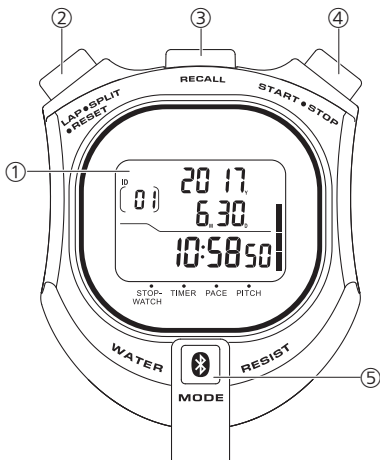
無線に関するご注意.....	82
商標、登録商標について	86

本機の特長

この時計は、次の機能を備えています。

- ◆携帯電話の接続 P.18
- ◆ストップウォッチ機能 P.24
- ◆メモリー（リコールモード）機能
..... P.32
- ◆タイマー機能 P.40
- ◆ペース設定機能 P.46
- ◆ピッチ計測機能 P.52
- ◆アラーム機能 P.58

各部の名称



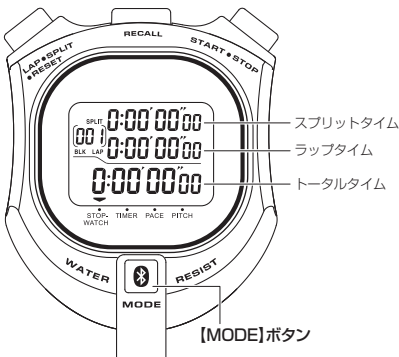
本書の記載	説明
① ディスプレイ	さまざまな情報を表示します。
② 【LAP/SPLIT/RESET】 ボタン	ラップ／スプリット／リセット操作をします。
③ 【RECALL】 ボタン	記録したデータを呼び出すときに使います。
④ 【START/STOP】 ボタン	スタート／ストップ操作をします。
⑤ 【MODE】 ボタン	モードを切り替えます。ボタンを押すたびにモードが切り替わります。 ディスプレイ一番下の矢印 (▼) で、現在どのモードにいるのかを確認することができます。 • 矢印 (▼) が表示されていない場合は、時計・カレンダーモードです。

モードを切り替える

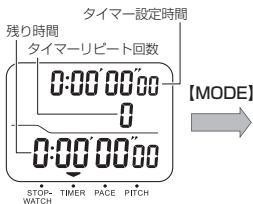
- ボタンを押すと操作音が鳴ります。操作音は消すことができます。

 操作音のオン／オフを設定する…P.67

ストップウォッチモード



タイマーモード

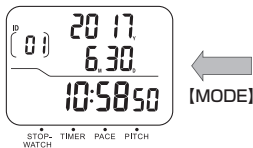


ペースモード

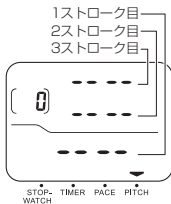


[MODE]

時計・カレンダーモード



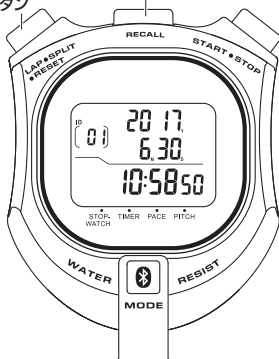
ピッチモード



時計・カレンダーモード

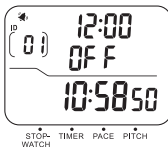
【LAP/SPLIT/
RESET】ボタン

【RECALL】ボタン

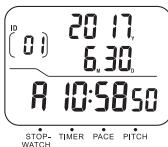


カレンダー表示とアラーム表示
が切り替わります。

[RECALL]



[LAP/SPLIT/
RESET]



24時間表示とAM/PM表示
が切り替わります。

携帯電話と一緒に使う

ストップウォッチと携帯電話を Bluetooth で接続することで、本機の時刻やカレンダーを合わせたり、本機で計測したデータをアプリケーションに送って同期したりできます。使用可能な携帯電話については、弊社ウェブサイトでご確認ください。

アプリケーションをインストールする

携帯電話と一緒に使うには、「iTunes App Store」からカシオオリジナルのアプリケーション「CASIO StopWatch+」を携帯電話にインストールしてください。

- ①「iTunes App Store」を開きます。
- ②検索フィールドに「CASIO StopWatch+」と入力します。
- ③「CASIO StopWatch+」をインストールします。

Bluetooth設定をオンにする

携帯電話の Bluetooth設定をオンにします。

- ① 携帯電話のホーム画面で「設定」→「Bluetooth」の順にタップします。
- ② 「Bluetooth」をオンにします。
- ③ 「設定」をタップして「設定」画面に戻ります。

参考

- 設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングする

ストップウォッチと携帯電話を接続（ペアリング）するための準備をします。

- ① ペアリング相手の携帯電話を、ストップウォッチの近く（1m 以内を推奨）に置きます。
- ② ホーム画面で「CASIO StopWatch+」アイコンをタップします。

③ アプリケーションの指示に従って操作します。

- 表示された画面で「CONNECT」アイコンをタップします。
- ストップウォッチ本体の  ボタンを約 5 秒間押し続けます。
- アプリケーションの画面とストップウォッチの画面に、4桁の英字と数字が組み合わされた ID が表示されます。
- アプリケーションに表示された ID「HSB-100W****」をタップします。
- ペアリングを開始し、成功すると、アプリケーションに次のメッセージが表示されます。

データ更新： 前回接続以降に新しく記録されたデータのみを更新します。全データ同期に比べて通信時間は短くなります。

全データ同期： ストップウォッチに記録されているすべてのデータをアプリケーションに送信します。

キャンセル： ペアリングを中止します。

注意

- ペース機能使用中にペアリング開始すると、ペース機能が停止します。

参考

- 次の場合、ストップウォッチと携帯電話は接続できません。
 - ストップウォッチがリセット状態でないとき
 - ピッチモード計測中
- 接続できないときは、警告音（ビープ音）が鳴り、ディスプレイの表示が次のように変わります。



ストップウォッチがリセット状態でない場合



ピッチモード計測中
の場合



ストップウォッチとピッチモード計測中の場合

- 接続を中断したい場合は、**ⓧ** ボタンを約 5 秒間押し続けると通常状態に戻ります。
- ペアリングに失敗したときは、手順 2 からやり直してください。
- 詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

ストップウォッチとアプリケーションを同期する

- はじめて接続したときは、アプリケーションの画面に表示された「全データ同期」をタップします。

本機の時刻とカレンダーが設定され、ストップウォッチで記録したデータがアプリケーションに送信されます。

- 2回目以降は、「データ更新」をタップしてください。
- 詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
- ストップウォッチとアプリケーションの同期が終わると、自動的に接続を解除します。

ストップウォッチ機能の使い方

ストップウォッチモードに入る

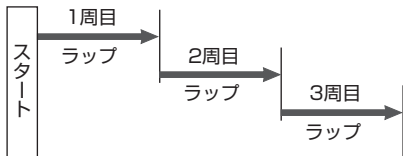
- **【MODE】** を押して、ストップウォッチモードを選びます。



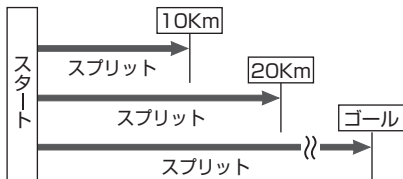
本機は計測した時間（ラップタイム、スプリットタイム）が自動的に記録（メモリー）されます。記録されたラップタイム、スプリットタイムは計測中および計測終了（ストップ）後に呼び出して見ることができます。

◆ラップタイムとスプリットタイムについて

- ・ラップは計測中の任意の区間の所要時間
例：自動車の周回レース等



- ・スプリットはスタート地点から任意の地点までの経過時間
例：マラソンの10kmごとのタイム等



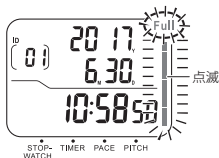
◆計測範囲について

- スプリット、ラップ、トータル共通で、9 時間 59 分 59 秒 99 までです (10 時間計)。
- 計測範囲を越えた場合、表示は 0 に戻って計測を続けます。

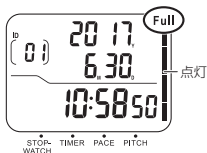
◆メモリーについて

- メモリーは 1 回の計測で、最大 750 本記録されます。メモリーが一杯になると、計測は可能ですが、メモリーには記録されません。メモリーは、ラップメモリーとピッチメモリーで共有しています。
- メモリーが増えると、ディスプレイの横にインジケータが表示されます。

(メモリーが一杯近くの時)



(メモリーが一杯の時)



計測のしかた

- 表示例は説明のため、わかりやすい数値を使用しています。
- ストップウォッチを使用しないときは、リセット表示にしておいてください。

◆ 通常計測

【START/STOP】でスタート／ストップ、【LAP/SPLIT/RESET】で計測をリセットします。



スタート → ストップ → リセット

00分00秒00

01分30秒00

00分00秒00

【START/STOP】を押します。計測が始まります。

【START/STOP】を押します。計測が止まります。

【LAP/SPLIT/RESET】を押します。計測がリセットされます。

◆積算計測

ロスタイムがある場合は、ストップ後にリセットせず、もう一度【START/STOP】を押してスタートします。



スタート → ストップ ----- ロスタイム 再スタート

00分00秒00

01分30秒00

01分30秒00
より計測表示

【START/STOP】
を押します。計測が
始まります。

【START/STOP】
を押します。計測が
止まります。

【START/STOP】
を押します。表示さ
れたタイムに続け
て、計測が始まりま
す。

● 注意

- ロスタイムの間は計測していません。



ストップ

02分40秒00

【START/STOP】
を押します。計測が
止まります。



リセット

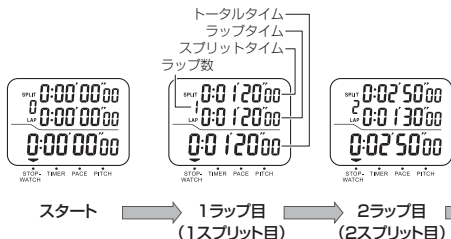
00分00秒00

**【LAP/SPLIT/
RESET】**を押します。
計測がリセットされ
ます。

◆ラップ／スプリットタイム計測

ラップタイムやスプリットタイムを計測するときの方法です。

ラップタイム計測とスプリットタイム計測の操作は同じです。ディスプレイには両方の値が表示されます。



スプリット 00分00秒00
ラ ッ プ 00分00秒00

スプリット 01分20秒00
ラ ッ プ 01分20秒00

スプリット 02分50秒00
ラ ッ プ 01分30秒00

【START/STOP】を押します。計測が始まります。

【LAP/SPLIT/RESET】を押します。計測は続きますが、スプリットタイムとラップタイムが記録されます。

【LAP/SPLIT/RESET】を押します。計測は続きますが、スプリットタイムとラップタイムが記録されます。



3ラップ目
(3スプリット目)

最終ラップ
(スプリット)
計測ストップ

リセット

スプリット 04分15秒00
ラップ 01分25秒00

トータル 05分50秒00

スプリット 00分00秒00
ラップ 00分00秒00

【LAP/SPLIT/RESET】を押します。
計測は続きますが、スプリットタイムとラップタイムが記録されます。

【START/STOP】を最後にゴールするときに押します。

【LAP/SPLIT/RESET】を押します。
計測がリセットされます。

ストップウォッチのリコール機能の使い方

記録したデータを表示します。

ストップウォッチがリセット状態と計測中の場合で、リコール表示は異なります。

計測中にストップしたときのデータもリコール表示されます。



◆リセット状態の場合

- ① **【MODE】** を押して、ストップウォッチモードを選びます。
- ② **【RECALL】** を押して、リコール表示に切り替えます。

ディスプレイにデータの計測開始日時が表示されます。

③【LAP/SPLIT/RESET】を必要な回数押して、表示するメモリーを選びます。

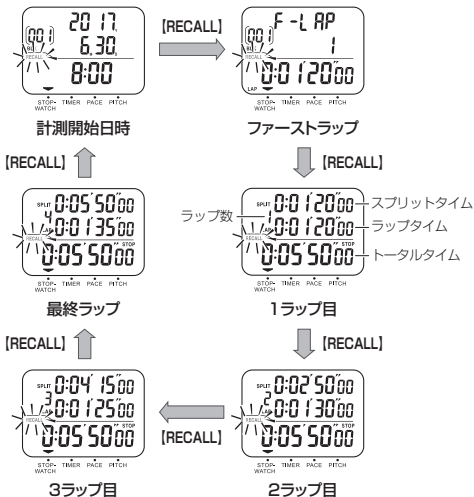
ディスプレイにメモリー番号とメモリーの計測開始日時が表示されます。

- 押すたびにメモリー番号が切り替わります。
- 001 番が一番古い計測メモリーで、番号が大きくなるほど新しい計測メモリーです。
- リコール表示では、一番古い計測メモリーから表示されます。



④ [RECALL] を押します。

[RECALL] を押すごとに、データが表示されます。

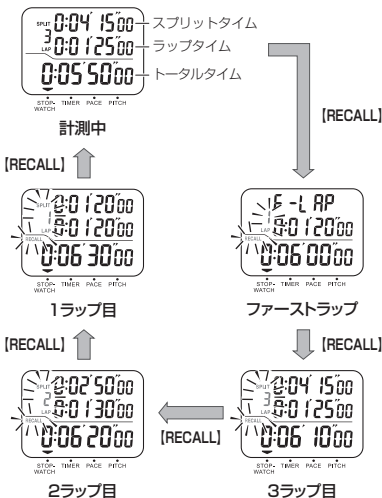


⑤ [START/STOP] を押して、計測画面に戻ります。

◆計測中の場合

計測中でも、**[RECALL]** を押して記録したデータを確認できます。

- ストップウォッチ計測中は、計測中のメモリーのみリコール表示されます。



参考

- 計測中は、ファーストラップまたはストップしたときのデータから表示されます。
- メモリーデータの表示中でも、トータルタイムは加算し続けます。
- **[RECALL]** を長押しすると、表示を早送りできます。
- メモリーデータの表示中でも、**[START/STOP]** または **[LAP/SPLIT/RESET]** を押して、計測中データの操作ができます。
- 約 5 秒間何も押さないと、計測中の画面に戻ります。

データを消去する

ストップウォッチのメモリーに記録された測定データを消去します。

注意

- ストップウォッチ計測中は、データを消去できません。
- すべてのデータが消去されますので、必要なデータは事前にアプリケーションに転送しておいてください。

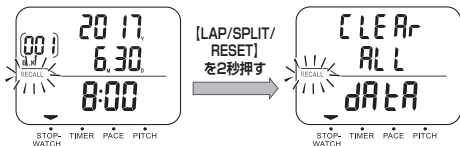
① **【MODE】** を押して、ストップウォッチモードを選びます。

② **【RECALL】** を押して、リコール表示に切り替えます。

- ディスプレイに計測開始日時が表示されます。
- 計測開始日時が表示されていない場合は、**【LAP/SPLIT/RESET】** を押して、計測開始日時表示にしてください。

③【LAP/SPLIT/RESET】を約2秒間押し続けます。

- ディスプレイに「Clear All Data」と表示され、ピピッと短いビープ音が何度か鳴ります。



● 注意

- データの消去をキャンセルするには、短いビープ音が鳴っているあいだに【LAP/SPLIT/RESET】を離します。

④データを消去するには、手順3で【LAP/SPLIT/RESET】を押したままにします。

ピーと長いビープ音が鳴り、データがすべて消去されます。

タイマー機能の使い方

タイマーの計測時間を設定する

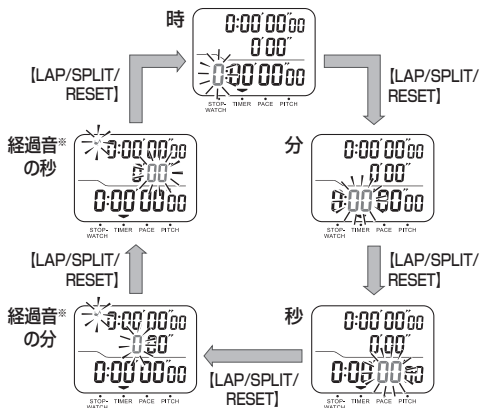
- ① **【MODE】** を押して、タイマーモードを選びます。
- ② **【RECALL】** を 2 秒間押し続けます。

タイマー設定モードになり、時を設定する位置が点滅します。



- ③ **【LAP/SPLIT/RESET】** で設定項目を選び、**【START/STOP】** で設定値を入力します。

設定項目は「時」「分」「秒」「経過音の分」「経過音の秒」の順に変わります。



- タイマーの設定範囲は次のとおりです。

時	0 ~ 9
分	00 ~ 59
秒	00 ~ 59
経過音※の分	0 ~ 10
経過音※の秒	00 ~ 59

※例えば経過音を 1'00" に設定すると、スタート後 1 分ごとに経過音が鳴ります。経過音をオフにするには、設定値を 0'00" にします。

- 経過音が設定されると、ディスプレイに🎵マークが表示されます。



- タイマーと経過音の設定範囲は次のとおりです。

タイマー設定時間	0:00'00" ~ 9:59'59"
経過音の設定時間	0'00" ~ 10'59"

- タイマーの設定時間を 0:00'00" に設定した場合は、10 時間になります。

🔔 注意

- タイマー設定時間より経過音の設定時間を長くした場合は、経過音は鳴りません。

④ 設定が終わったら、【RECALL】を押してタイマー設定モードを終了します。

設定した値が確認できます。

参考

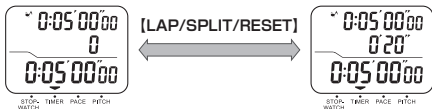
- 【LAP/SPLIT/RESET】を2秒間押し続けても、タイマー設定モードになります。ただし、このときは、タイマー設定値がすべて初期化されます。
タイマー初期設定値：0:00'00" 経過音：OFF
- タイマー計測中は、タイマー設定モードに切り替えできません。
- タイマーをリセットした状態で【LAP/SPLIT/RESET】を押すと、経過音の設定時間を確認できます。

計測する

- ① **【START/STOP】** を押します。計測が始まります。
- ② もう一度 **【START/STOP】** を押すと、計測が止まります。
- ③ **【LAP/SPLIT/RESET】** または **【RECALL】** を押すと、計測がリセットされます。



- リセット後に **【LAP/SPLIT/RESET】** を押すと、「経過音の設定時間」表示に切り替ります。



参考

- タイマーは、タイマーを止めるまで設定した時間で繰り返し測定し、経過音が鳴ります。
- 計測中は、中央の行にタイマーリピート回数（最大 999 回）が表示されます。最大数を超えると 0 に戻って繰り返します。
- 残り 5 秒になると予告音が鳴り、タイマー表示が点滅します。
- タイマー計測中は、タイマー表示がタイマーリピート回数表示になります。

ペース設定機能の使い方

設定した間隔でビープ音を鳴らす機能です。

水泳やカヌーのような、適切なリズムを維持するスポーツの練習に便利です。

参考

- ペース値は、5 ～ 120 までは5 刻み、それ以降は150、180、240 です。

ペース値は、1 分間にビープ音を鳴らす回数です。例えばペース値を 60 にすると、1 秒ごとにビープ音が鳴ります。

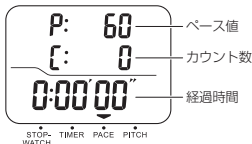
ペースモードには、シングルモードとメモリーモードがあります。

シングルモード：本機単体で使します。

メモリーモード：携帯電話と接続して使します。

シングルモードで使用する

- ① **【MODE】** を押して、ペースモードを選びます。



- すでに携帯電話と接続してメモリーモードを使用している場合は、メモリーモードの画面が最初に表示されます。**【RECALL】** を 2 秒間押し続けてシングルモードの画面に切り替えてください。

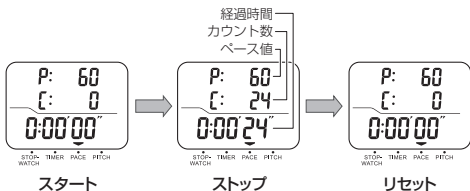
- ② **【RECALL】** を押して、ペース値を設定します。

- ③ **【START/STOP】** を押すと、ペース機能が始まります。

カウント回数がディスプレイに表示されます。

- カウント回数の最大値は 999 で、最大値を超えると 0 に戻って繰り返します。
- 計測をストップするには、もう一度 **【START/STOP】** を押します。

④ 計測が終わったら、【LAP/SPLIT/RESET】を押してカウントをリセットします。



- ペースを変更したい場合、計測をストップした後に【RECALL】を押すと、カウントをリセットしてペース値が変わります。

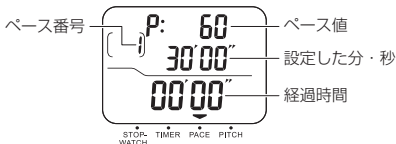
メモリーモードで使用する

- ① アプリケーションで、ペース値と運動する時間を設定します。

- 詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

- ② 本機の【MODE】を押して、ペースモードを選びます。

アプリケーションで設定したペース値 / 分 / 秒が、ディスプレイに表示されます。



- 【RECALL】を2秒間押し続けると、シングルモードの画面に切り替えることができます。

③ 複数のペースセットを設定した場合、【RECALL】を押して開始したいペース番号を選びます。

- ペースセットは、アプリケーションで最大 10 本設定できます。

④ 【START/STOP】を押すと、ペース機能が始まります。

- 開始したペース番号から、最後に設定したペース番号までペース機能が動作します。

例：アプリケーションでペースセットを 5 本設定して、本機の **【RECALL】** を押してペース番号 3 を選択した場合、ペース機能はペース番号 3 → 4 → 5 と動作します。その後、ペース番号 5 で計測が終わります。

- 設定した時間から減算して表示されます。設定した時間が過ぎると計測が終わります。
- 計測を止めるには、もう一度 **【START/STOP】** を押します。さらに **【START/STOP】** を押すと、そのペース番号の最初からペース機能が始まります。
- 計測中に **【RECALL】** を押すと、次のペース番号の最初からペース機能が始まります。

- ⑤ 計測が終わったら、【RECALL】を押してカウントをリセットします。



スタート



ストップ



リセット

● 注意

- メモリーモードでは、計測を止めた時間からのペース機能の再スタートはできません。

💬 参考

- 本機に表示したいペースセットを変更する場合は、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

ピッチ計測機能の使い方

水泳やカヌーなどのストローク動作の 3 回分を測定し、1 分間あたりのピッチに換算して表示します。

メモリーは最大 250 本記録されます。

メモリーが一杯になると、計測は可能ですが、メモリーには記録されません。

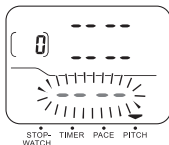
メモリーは、ラップメモリーとピッチメモリーで共有しています。

ストローク計測をする

① **【MODE】** を押して、ピッチモードを選びます。

② **【START/STOP】** を押して計測を始めます。

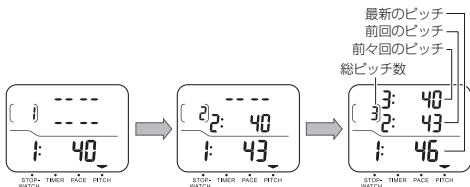
計測を開始すると、“-- --” が点滅します。



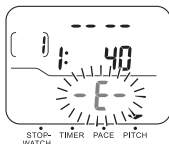
③ 続けて、3 ストロークごとに【START/STOP】を押します。

ディスプレイに 1 分間あたりのピッチが表示されます。

- 3 回以上続けた場合は直近の 3 回分が表示され、ピッチ数はディスプレイ左側に表示されます。



- 計測開始から、ボタンを押す間隔は 1 秒以上あけてください。ボタンを押す間隔が 1 秒以下または 180 秒以上の場合は、エラーが表示されます。ストロークの最大値は 180 ストローク／分です。



④ **【LAP/SPLIT/RESET】** を押して、ストローク計測を終えたときに、ストローク計測の平均値が記録されます。

- 平均値は、最新の最大 10 回分のピッチから小数点以下は切り捨てで計算されます。

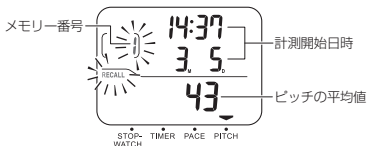
参考

- ピッチ計測中に **【RECALL】** を押した場合、ピッチの平均値は記録されません。

記録を確認する

●【RECALL】を押します。

最新の記録から順に、ディスプレイに記録が表示されます。

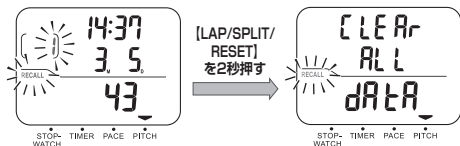


- 表示中に【START/STOP】または【LAP/SPLIT/RESET】を押すと、計測画面に戻ります。

ストローク計測した記録を消去する

- ① **【RECALL】** を押して、リコール表示に切り替えます。
- ② **【LAP/SPLIT/RESET】** を約 2 秒間押し続けます。

ディスプレイに「Clear All Data」と表示され、ピピッと短いビープ音が何度か鳴ります。



注意

- データの消去をキャンセルするには、短いビープ音が鳴っているあいだに **【LAP/SPLIT/RESET】** を離します。

- ③ データを消去するには、手順 2 で【LAP/SPLIT/RESET】を押したままにします。**

ピーと長いビープ音が鳴り、データが消去されます。

アラーム機能

設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。

アラームの時刻を設定する

- ① 時計・カレンダーモードで、**【RECALL】** を 2 秒以上押し続けます。



時計・カレンダーモードで時刻やその他の設定を変更する…P.62

- ② **【LAP/SPLIT/RESET】** を 1 回押して、アラーム設定画面にします。
- ③ **【START/STOP】** を押して、アラームのオン／オフを切り替えます。

④ 【LAP/SPLIT/RESET】 を押して設定項目を、 【START/STOP】 で値を設定します。

設定項目は【LAP/SPLIT/RESET】を押すたびに、
下図の順に移動します。

アラーム:オン/オフ



アラーム:時



アラーム:分



- 【START/STOP】を長押しすると、値が早送りで
きます。

⑤ 設定が完了したら、【RECALL】を押して時計・ カレンダーモードに戻ります。

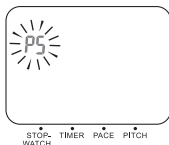
アラームを使う

設定した時刻になると、アラームが 30 秒間鳴ります。

- アラームを止めるにはいずれかのボタンを押します。

パワーセービング機能

パワーセービング機能をオンにして、何も操作しないまま3時間が過ぎると、自動的に節電状態になります。節電状態では、ディスプレイにPS (Power Saving) が点滅表示されます。



節電状態を解除するには、ストップウォッチのいずれかのボタンを押します。

- この機能は、初期設定ではオフになっています。
- 設定方法は、「パワーセービング機能のオン／オフを設定する」(69 ページ) を参照してください。

時計・カレンダーモード

ストップウォッチのさまざまな設定をします。

時計・カレンダーモードで時刻やその他の設定を変更する

- ① **【MODE】** を押して、時計・カレンダーモードを選びます。

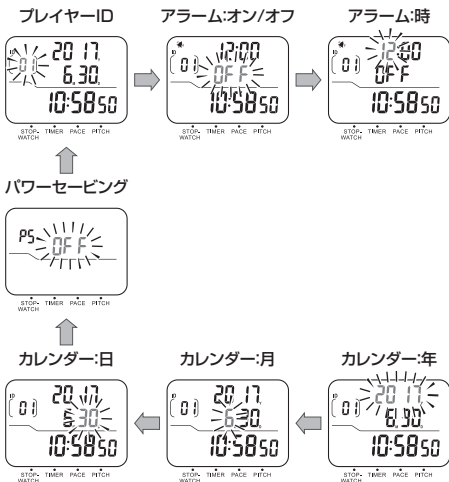
このとき、モードを示す欄に▼は表示されません。

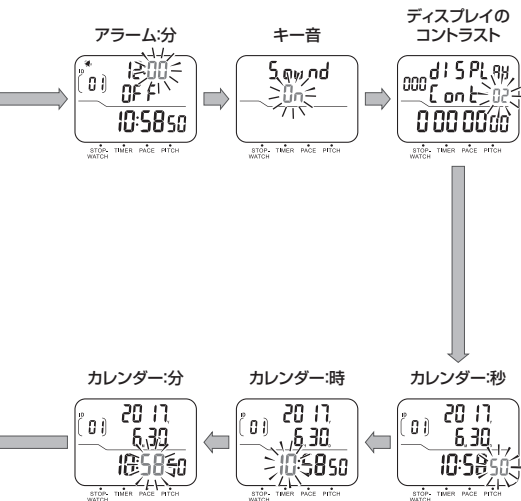
②【RECALL】を2秒以上押し続けます。

一番最初に、IDの数字が点滅します。



③ [LAP/SPLIT/RESET]で設定項目を、[START/STOP]で設定値を選びます。





④ 時計・カレンダーモードに戻るときには、**【RECALL】**を押します。

- 約 1 分間何も押さないと、時計・カレンダーモードに戻ります。

プレイヤー ID を設定する

アプリケーションに転送したときに、プレイヤーの識別番号として利用できます。

詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

① **【LAP/SPLIT/RESET】** を押して、プレイヤー ID の設定画面にします。

ID の数字が点滅します。



② **【START/STOP】** を押し て、プレイヤー ID を切り替えます。

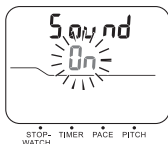
設定範囲は 01 ～ 99 です。

アラームを設定する

「アラーム機能」(58 ページ) を参照してください。

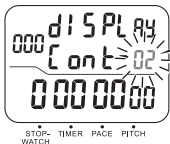
操作音のオン／オフを設定する

- ① **【LAP/SPLIT/RESET】** を押して、操作音の設定画面にします。
- ② **【START/STOP】** を押して、操作音のオン／オフを切り替えます。



ディスプレイのコントラストを設定する

- ① **【LAP/SPLIT/RESET】** を押して、コントラスト設定画面にします。
- ② **【START/STOP】** を押して、コントラストを切り替えます。
設定範囲は 01 ～ 03 です。



時刻・日付を設定する

携帯電話と接続すると、携帯電話の時刻と日付に自動的に合わせます。携帯電話と接続して使用しないときは、以下の操作でストップウォッチの日時を合わせます。

- ① **【LAP/SPLIT/RESET】**
を押して、カレンダー設定
画面にします。

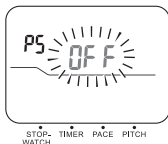
- ② **【LAP/SPLIT/RESET】**
で 設 定 項 目、**【START/
STOP】** で設定値を入力し
ます。



- **【LAP/SPLIT/RESET】** を押すたびに、「秒」「時」「分」「年」「月」「日」の順に移動します。
- 「秒」のときに **【START/STOP】** を押すと、秒桁が「00」になります。

パワーセービング機能のオン／オフを設定する

- ① **【LAP/SPLIT/RESET】** を押して、パワーセービング設定画面にします。
- ② **【START/STOP】** を押して、パワーセービング機能のオン／オフを切り替えます。



バッテリー残量低下の検出

機能	画面表示
バッテリー残量が低下すると、センターラインが点滅します。	 The screen displays the date '20 17', time '6.30', and '10:58 50'. A battery level indicator shows '10' and a center line that is flashing.
さらにバッテリー残量が低下すると、センターラインとBluetoothマークが点滅して、Bluetooth機能が無効になります。	 The screen displays the date '20 17', time '6.30', and '10:58 50'. Both the battery level indicator (showing '10') and the Bluetooth icon are flashing.
バッテリー残量が極端に少なくなると、時刻 / カレンダー表示以外の機能が無効になります。	 The screen displays only the date '20 17', time '6.30', and '10:58 50'. All other UI elements are absent.

製品仕様

基本機能：ストップウォッチ、タイマー、
ペース設定、ピッチ計測、
時計・カレンダー、アラーム

ストップウォッチ：計測単位 1/100 秒
モード 計測範囲 9 時間 59 分 59 秒 99
(10 時間計)
時間精度 99.9988% (常温)
メモリーリコール機能
最大 750 本の計測データを記録※

タイマーモード：計測範囲 9 時間 59 分 59 秒

ペース設定：設定値 1 分あたり 5 カウント～
240 カウント
• 5 ～ 120 までは 5 刻み、それ以降は 150、180、240。

ピッチ計測：1 分間あたりのピッチ数
計測範囲 10 ～ 180 ピッチ
メモリーリコール機能
最大 250 本のピッチを記録※

※ ストップウォッチとピッチはメモリーを共用しています。

参考

- 製品の詳細とアプリケーションの外観および機能は、お住まいの地域またはお使いのデバイスの設定に応じて異なる場合があります。

◆ ペース音と電池寿命の関係

ペース設定例とおおよその電池寿命

ペース設定 (回 / 分)	1 日当たりの使用時間		
	1 時間	2 時間	4 時間
60	18 か月	14 か月	10 か月
120	14 か月	10 か月	6 か月
240	10 か月	6 か月	3 か月

ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさけてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
- 浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
- 以下のようなところに本機を置くことは避けてください。
 - ・テレビの近くなど（テレビ画面に色むらが起こる場合があります）
 - ・時計、キャッシュカード、プリペイドカードの近くなど
- 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。
- 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。
- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。

- 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。
- 液晶表示は、使用温度範囲（0℃～ 40℃）を超えると、表示が見にくくなることがあります。
- 液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

電池交換について

最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
 - * モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
 - * 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

- 電池が消耗しますと「計測の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

- 電池交換はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

モバイルリンク機能に関する注意事項

●法律上のご注意

- 本機は、日本の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。

●安全上のご注意

警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

●モバイルリンク機能使用上のご注意

- 携帯電話は、本機の近くに置いてご使用ください。5m以内が目安ですが、周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機の Bluetooth は無線 LAN対応機器と同一の周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備を内蔵していますので、無線局の免許は不要です。
- 分解および改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート (マンションなど) や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 本機と携帯電話等が別々の部屋にある場合 (障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

＜以下、ARIB（一般社団法人 電波産業会）に準ずる＞

- 本機は 2.4GHz帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM方式、DS-FH, FH-OFDM複合方式以外の“その他の方式”です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。

3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」(88ページ) にお問い合わせください。

商標、登録商標について

- Bluetooth[®] は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- iPhone, App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。